

[トヨタ] タイヤ空気圧システム 登録 (例: カムリ AXVH70 系)

前作業

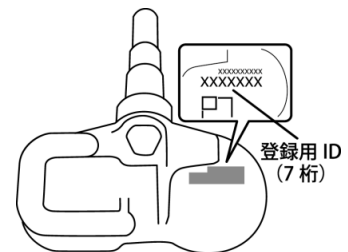
- タイヤ空気圧警報バルブ/送信機 ID はタイヤ空気圧警報バルブ/送信機に記載されています。ホイールを組む前に ID を記録してください。

タイヤ空気圧警報 ECU/受信機を交換する場合

- 交換する前にタイヤ空気圧警報 ECU/受信機に登録されている全てのタイヤ空気圧警報バルブ/送信機の現在の ID および現在登録済みの送信機付きタイヤの本数 (4 または 5 本) を TPM-R で読み取り記録しておきます。
- TPM-R で登録された ID の読み取りが不可能な場合は、ホイールからタイヤを外しタイヤ空気圧警報バルブ/送信機に記載されている ID を確認します。

タイヤ空気圧警報バルブ/送信機を交換する場合

- タイヤ空気圧警報バルブ/送信機に記載されている 7 桁の ID コード (送信機 ID) を記録します。



手順/操作

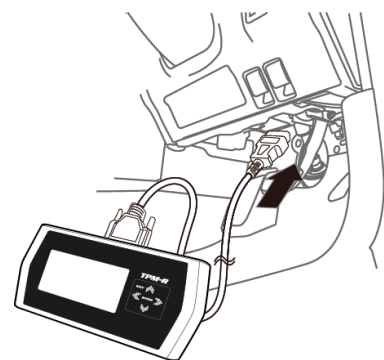
1. タイヤ空気圧バルブ/送信機 ID 登録

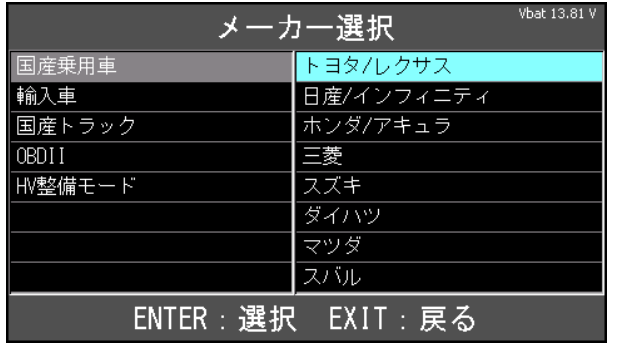
- 参考:
- 登録が完了すると以前登録されていた全ての ID は消去されます。
 - タイヤ空気圧警報バルブ/送信機 ID の登録が **300 秒以内** に完了しない場合、登録はキャンセルされます。



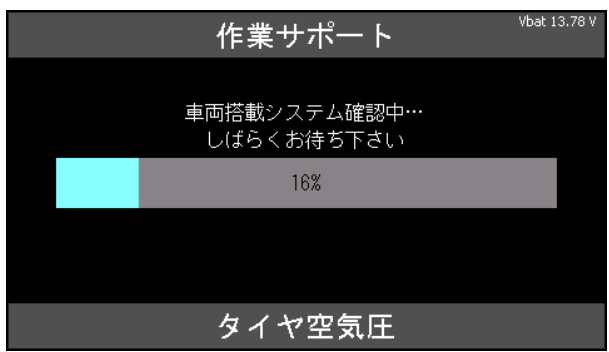

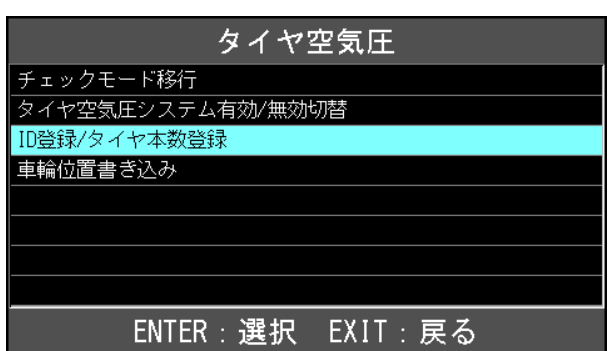
1.

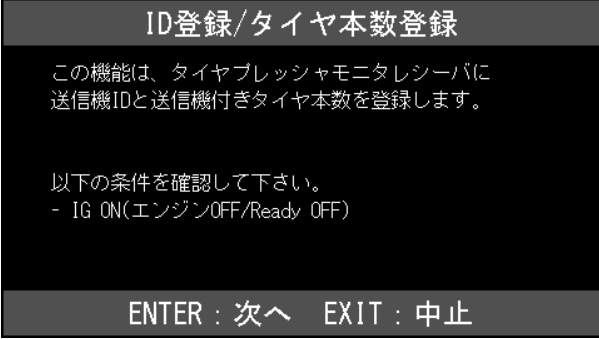
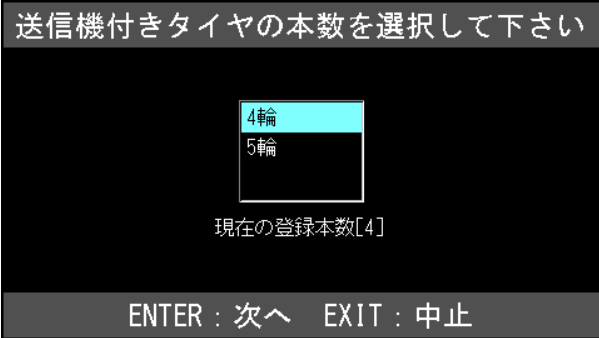
全てのタイヤ空気圧を規定圧に調整します。

イグニッションスイッチが OFF であることを確認して TPM-R を車両に接続し、イグニッションスイッチを ON にします。

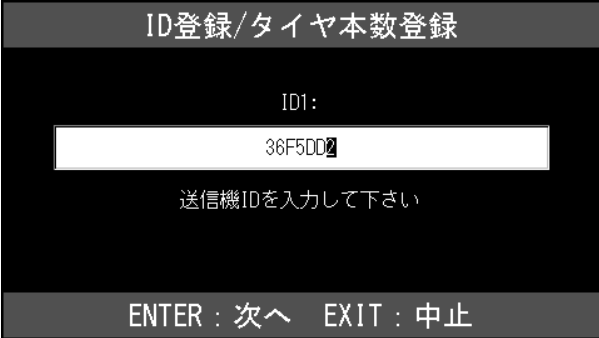
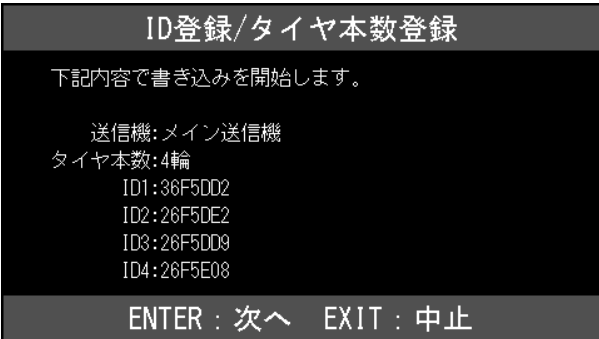


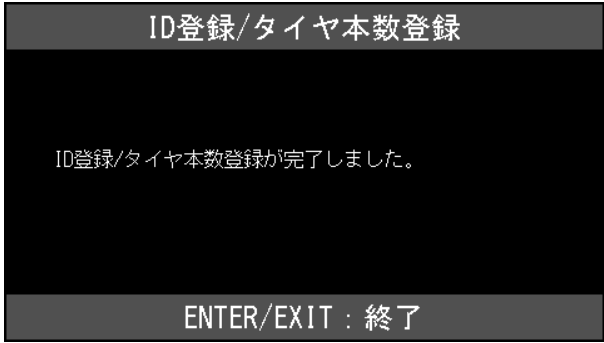

<p>2.</p>	<p>『メーカー選択』画面から [国産乗用車] - [トヨタ/レクサス] を 選択して [ENTER] を押します。</p>	
<p>3.</p>	<p>『地域設定』画面から [日本] を選択して [ENTER] を押します。</p>	
<p>4.</p>	<p>『車両選択』画面から [自動検出] を選択して [ENTER] を押します。続いて 『ブランド』『車名』『車型』『エンジン型式』、 『オプション』画面で年式を正しく選択して [ENTER] を押します。</p>	
<p>4.</p>		
<p>4.</p>		

<p>5.</p>	<p>『トヨタ メインメニュー』画面で 〔作業サポート〕 を選択して [ENTER] を押します。</p>	 <p>トヨタ メインメニュー vbat 13.78 V</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート</p> <p>アクティブテスト</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>6.</p>	<p>『作業サポート』画面で 〔作業サポート[New]〕 を選択して [ENTER] を押します。</p>	 <p>作業サポート vbat 13.78 V</p> <p>作業サポート [New]</p> <p>作業サポート [Previous]</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>7.</p>	<p>車両搭載システムの確認が開始されます。</p>	 <p>作業サポート vbat 13.78 V</p> <p>車両搭載システム確認中… しばらくお待ち下さい</p> <p>16%</p> <p>タイヤ空気圧</p>
<p>8.</p>	<p>『作業サポート』画面が表示されましたら、 〔タイヤ空気圧〕 を選択して[ENTER] を 押します。</p>	 <p>作業サポート</p> <p>HVバッテリー</p> <p>レーダークルーズ</p> <p>ABS/VSC</p> <p>タイヤ空気圧</p> <p>電動パワステ</p> <p>電動PKB</p> <p>前方認識カメラ</p> <p>A/C</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>9.</p>	<p>『タイヤ空気圧』画面から、 〔ID登録/タイヤ本数登録〕 を選択して [ENTER] を押します。</p>	 <p>タイヤ空気圧</p> <p>チェックモード移行</p> <p>タイヤ空気圧システム有効/無効切替</p> <p>ID登録/タイヤ本数登録</p> <p>車輪位置書き込み</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>

<p>10.</p>	<p>条件を確認して [ENTER] を押します。</p>	
<p>11.</p>	<p>[4 輪] を選択して [ENTER] を押します。</p>	

参考 : ● 送信機付きタイヤ本数の設定は、初期値が 5 輪の場合のみ 4 輪に変更が可能です。通常時は初期値のタイヤ本数で設定を行います。

<p>12.</p>	<p>上下左右矢印ボタンを使用して記録した送信機 ID を入力して [ENTER] を押します。 同じ作業をそれぞれ行います。</p>	
<p>13.</p>	<p>入力した送信機 ID が表示されます。 確認して [ENTER] を押して登録を行います。</p>	

<p>14.</p>	<p>ID 登録/タイヤ本数登録が完了しました。</p>	
<p>15.</p>	<p>登録が完了しましたら[ENTER] を押して終了し『トヨタ メインメニュー』画面まで戻ります。</p>	

2. ID 登録確認

注意:

- タイヤ空気圧のデータ更新には 2~3 分程かかる場合があります。もしデータが受信されない場合は故障コード C2121/21 から C2124/24 の診断手順に従ってトラブルシューティングを行います。
- ID が登録されていない場合 3 分以上経過すると故障コード C2171/71 が記憶されます。
- 正常なタイヤ空気圧が表示された場合、ID 登録は正常に完了しています。
- 数分後に正しいタイヤ空気圧が表示されない場合、ID が正しくないかシステムが故障しています。
- 全ての ID を登録した後、故障コード C2126/26 が記憶されタイヤ空気圧警報ランプが 1 分間点滅後点灯します。登録された全てのデータが ECU に送られると故障コード C2126/26 は消去されタイヤ空気圧警報ランプが消灯します。

<p>1.</p>	<p>『トヨタ メインメニュー』画面から 〔診断〕 - 〔シャシ〕 - 〔タイヤ空気圧〕 を選択し [ENTER] を押します。</p>	
<p>2.</p>	<p>〔データモニタ〕 を選択し [ENTER] を 押します。</p>	
<p>3.</p>	<p>〔データモニタ〕 項目から 〔送信機 1 タイヤ空気圧〕 (ID1 タイヤ空気圧) から 〔送信機 4 タイヤ空気圧〕 (ID4 タイヤ空気圧) までを選択、またはすべてを選択し [ENTER] を押します。</p>	

4.

各輪のタイヤ空気圧を 30 秒以内に
40kPa(0.4kgf/cm²)以上急減圧させ
〔送信機タイヤ空気圧〕データが更新され
実際のタイヤ空気圧を表示することを確認して
ください。

送信機1タイヤ空気圧	220.16 kPa
送信機2タイヤ空気圧	237.36 kPa
送信機3タイヤ空気圧	221.88 kPa
送信機4タイヤ空気圧	235.64 kPa

データ保存 印刷

5.

すべてのタイヤ空気圧データが更新されることを確認した後、タイヤ空気圧を規定圧に調整し
ステアリングパッドスイッチ ASSY を操作して初期化します。

初期化はイグニッション ON でステアリングパッドスイッチ ASSY を操作して
マルチインフォメーションディスプレイ内の「初期化」を選択しタイヤ空気圧警報ランプが
3回点滅するまで OK スイッチ（ステアリングパッドスイッチ ASSY）を押し続けます。
その後イグニッションスイッチを OFF にします。

参考 :

- N/A を表示している場合はデータが受信できていません。
- タイヤ空気圧データ更新には 2~3 分程かかる場合があります。
- 送信機 1 から 4 のデータモニタからは車輪位置を特定することはできません。

3. 車輪位置識別および車輪位置書き込み

1.	<p>ID 登録確認 の手順 1~3 まで進みます。</p> <p>各輪のタイヤ空気圧を 30 秒以内に 40kPa(0.4kgf/cm²)以上急減圧させデータモニタの値を確認します。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">データモニタ</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>送信機1タイヤ空気圧</td><td style="text-align: right;">220.16 kPa</td></tr> <tr><td>送信機2タイヤ空気圧</td><td style="text-align: right;">237.36 kPa</td></tr> <tr><td>送信機3タイヤ空気圧</td><td style="text-align: right;">221.88 kPa</td></tr> <tr><td>送信機4タイヤ空気圧</td><td style="text-align: right;">235.64 kPa</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 5px;"> データ保存 印刷 </div>	送信機1タイヤ空気圧	220.16 kPa	送信機2タイヤ空気圧	237.36 kPa	送信機3タイヤ空気圧	221.88 kPa	送信機4タイヤ空気圧	235.64 kPa								
送信機1タイヤ空気圧	220.16 kPa																	
送信機2タイヤ空気圧	237.36 kPa																	
送信機3タイヤ空気圧	221.88 kPa																	
送信機4タイヤ空気圧	235.64 kPa																	

参考 :

- タイヤ空気圧データ更新には 2~3 分程かかる場合があります。
- 送信機タイヤ空気圧データが変化しない場合は、タイヤを 90°から 270°回転させ再度確認作業を行って下さい。

2.	<p>データモニタのタイヤ空気圧の変化から、減圧したタイヤのタイヤ空気圧警報バルブ/送信機が ID1 から ID4 の内どれなのかを特定し記録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 送信機 1 タイヤ空気圧 (ID1 のタイヤ空気圧) ・ 送信機 2 タイヤ空気圧 (ID2 のタイヤ空気圧) ・ 送信機 3 タイヤ空気圧 (ID3 のタイヤ空気圧) ・ 送信機 4 タイヤ空気圧 (ID4 のタイヤ空気圧) <p>1 輪ずつ繰返し行い、特定できたらタイヤ空気圧を規定値に調整します。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">データモニタ</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>送信機1タイヤ空気圧</td><td style="text-align: right;">170.28 kPa</td></tr> <tr><td>送信機2タイヤ空気圧</td><td style="text-align: right;">237.36 kPa</td></tr> <tr><td>送信機3タイヤ空気圧</td><td style="text-align: right;">221.88 kPa</td></tr> <tr><td>送信機4タイヤ空気圧</td><td style="text-align: right;">235.64 kPa</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 5px;"> データ保存 印刷 </div>	送信機1タイヤ空気圧	170.28 kPa	送信機2タイヤ空気圧	237.36 kPa	送信機3タイヤ空気圧	221.88 kPa	送信機4タイヤ空気圧	235.64 kPa								
送信機1タイヤ空気圧	170.28 kPa																	
送信機2タイヤ空気圧	237.36 kPa																	
送信機3タイヤ空気圧	221.88 kPa																	
送信機4タイヤ空気圧	235.64 kPa																	

3.	<p>『トヨタ メインメニュー』画面に戻り 〔作業サポート〕 - 〔作業サポート[New]〕 - 〔タイヤ空気圧〕 - 〔車輪位置書き込み〕 を選択して [ENTER] を押します。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">タイヤ空気圧</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>チェックモード移行</td></tr> <tr><td>タイヤ空気圧システム有効/無効切替</td></tr> <tr><td>ID登録/タイヤ本数登録</td></tr> <tr style="background-color: #00b050; color: white;"><td>車輪位置書き込み</td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> ENTER : 選択 EXIT : 戻る </div>	チェックモード移行	タイヤ空気圧システム有効/無効切替	ID登録/タイヤ本数登録	車輪位置書き込み				
チェックモード移行										
タイヤ空気圧システム有効/無効切替										
ID登録/タイヤ本数登録										
車輪位置書き込み										

<p>4.</p>	<p>条件を確認して [ENTER] を押します。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">車輪位置書き込み</p> <p style="margin: 5px 0;">この機能はタイヤの車輪位置を手動で書き込みます。</p> <p style="margin: 5px 0;">以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - IG ON - ID登録済み - 実行中に初期化SWを押下しない <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> </div>							
<p>5.</p>	<p>手順を確認して [ENTER] を押します。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">車輪位置書き込み</p> <p style="margin: 5px 0;">次の画面で、車輪位置を正しい状態に変更後、「書込」を選択して下さい。</p> <p style="margin: 5px 0;">車輪位置を変更するには、変更対象の項目を選択して下さい。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> </div>							
<p>6.</p>	<p>ID1 から ID4 が表示されます。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">車輪位置書き込み</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">ID1: 26F5DD2 [判定中]</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">ID2: 26F5DE2 [判定中]</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">ID3: 26F5DD9 [判定中]</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">ID4: 26F5E08 [判定中]</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">書込</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;"> </td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;"> </td></tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> </div>	ID1: 26F5DD2 [判定中]	ID2: 26F5DE2 [判定中]	ID3: 26F5DD9 [判定中]	ID4: 26F5E08 [判定中]	書込		
ID1: 26F5DD2 [判定中]									
ID2: 26F5DE2 [判定中]									
ID3: 26F5DD9 [判定中]									
ID4: 26F5E08 [判定中]									
書込									
<p>7.</p>	<p>ID1 から ID4 それぞれに車輪位置 (FL/FR/RL/RR) を割当てます。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">ID1: 26F5DD2 [判定中]</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">変更値:</p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #333; color: white; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80px;"> <p style="margin: 0;">FL</p> <p style="margin: 0;">FR</p> <p style="margin: 0;">RL</p> </div> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">現在設定値: 判定中</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">ENTER : 決定 EXIT : キャンセル</p> </div>							
<p>8.</p>	<p>それぞれの ID の車輪位置に間違いがないか確認してください。</p> <p>間違いがなければ「書込」を選択して [ENTER] を押します。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">車輪位置書き込み</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">ID1: 26F5DD2 [FL]</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">ID2: 26F5DE2 [FR]</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">ID3: 26F5DD9 [RL]</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">ID4: 26F5E08 [RR]</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;">書込</td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;"> </td></tr> <tr><td style="border-bottom: 1px solid #ccc;"> </td></tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> </div>	ID1: 26F5DD2 [FL]	ID2: 26F5DE2 [FR]	ID3: 26F5DD9 [RL]	ID4: 26F5E08 [RR]	書込		
ID1: 26F5DD2 [FL]									
ID2: 26F5DE2 [FR]									
ID3: 26F5DD9 [RL]									
ID4: 26F5E08 [RR]									
書込									

9.

車輪位置の書き込みが完了しました。

[ENTER] を押して終了し
『トヨタ メインメニュー』画面に戻り
イグニッションを OFF にして TPM-R を取外して
ください。

車輪位置書き込み

車輪位置書き込みが完了しました。

ENTER/EXIT : 終了